

## 令和元年度 事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

### I 総括

令和元年度は、前年度に開設したケアスタ福岡（グループホーム、小規模多機能型居宅介護、デイサービス、サービス付き高齢者向け住宅）がフル稼働となり、併設の福岡介護福祉専門学校についても新校舎での授業が始まりました。10 月からの消費税率引き上げや最低賃金アップ等により、経営状況はさらに厳しさを増していますが、当法人としては、適正な収支コントロールを行い、次なる一手に備える好機となりました。

法人全体の事業運営については、特別養護老人ホームの入居者に対して効果的な口腔ケアを提供し、誤嚥性肺炎による入院者を減らす「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト」、介護ロボット（眠りスキャン、ノーリフトに関する福祉用具）を活用しながら科学的介護を実践する「ネオユニットケア」、適正な職員配置により人件費をコントロールする「適正人員プロジェクト」、ホームページやマスメディア等による多角的な広報活動を行い、選ばれる法人（施設）を目指す「ブランディング活動」を柱として事業の安定化を図りました。また、介護人材の確保、処遇改善として、新卒者の採用、ベースアップ昇給、処遇改善手当の増額、定年年齢の引き上げ、年次有給休暇の取得促進等を行い、一定の効果が見られました。

アットホーム博多の森では、ノーリフトの取り組みを推進し、入居者の自立支援や介護職員の腰痛予防、求人活動等に効果を上げました。また、福岡市老人福祉施設協議会主催の研究発表大会にてノーリフトの取り組みを発表し、最優秀賞に輝きました。地域貢献活動として、月隈まごころサロンの開催や高齢者の買い物支援を行いました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は、91.4%（前年比 0.5%減）、デイサービスの稼働率は、62.3%（前年比 2.9%増）となりました。

アットホーム諸岡では、信頼される施設作りの一環として、科学的介護の実践を行いました。入居者の重度化を受け、委員会活動及び施設内研修の充実を図りました。地域貢献活動として、地域健康講話、朝の挨拶運動、地域清掃、高齢者の買い物支援を行いました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は 96.0%（前年比 0.0%）、デイサービスの稼働率は、83.3%（前年比 4.6%減）となりました。

アットホーム福岡では、適正な施設運営のため、稼働率の向上、介護の質の向上、接遇強化に取り組みました。介護の質の向上として、認知症予防、口腔ケア、看取りの強化を図りました。地域貢献活動として、地域健康セミナーの開催や博多祇園山笠などの地域行事に参加しました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は、92.4%（前年比 1.2%減）、サービス付き高齢者向け住宅の稼働率は、98.1%（前年比 1.7%増）、ケアセンター県庁口の相談件数は、年間 866 件（前年比 27 件増）、けいあい保育園の稼働率は、64.5%（前年比 22.3%減）となりました。テナント事業については、ひまわりホームクリニックとの賃貸借契約が令和 2 年 2 月 29 日付で満了となりました。

ケアスタ福岡では、各サービスの目標稼働率の達成のため、新規利用者の獲得や介護の質の向上、広報活動の強化を図りました。千代パピヨンデイサービスセンターでは、令和元年 5 月から利用定員を 40 名から 45 名に増やしました。地域貢献活動としては、博多祇園山笠への職員派遣等を行いました。グループホームの稼働率は、93.9%（前年比 7.6%増）、千代パピヨンデイサービスセンターの稼働率は、75.3%（前年比 1.6%減）、小規模多機能型居宅介護の稼働率は、54.0%（前年比 29.2%増）、サービス付き高齢者向け住宅の稼働率は、99.7%（前年比 15.2%増）となりました。

福岡介護福祉専門学校では、平成 31 年 4 月から新校舎での授業が始まり、新入生 19 名を含め、全体の生徒数は 28 名となりました。敬愛園式介護福祉士教育法を確立させるため、建物全体（ケアスタ福岡）を学びの場として授業に活かす学内教育と実践教育を融合させた取り組みを行いました。しかし、年度途中での自己都合退学者が 5 名あったため、生徒一人ひとりに対するサポート強化を図りました。学生募集については、これまでの学生募集に加えて、法人職員のネットワークや外国人留学生の募集に力を入れました。

法人全体の事業活動によるサービス活動収益は、ケアスタ福岡フル稼働及び介護報酬プラス改定などにより、20 億 2,337 万円（前年比 1 億 961 万円増）となりました。人件費については、新卒者の採用、ベースアップ昇給、処遇改善手当の増額等により、12 億 1,060 万円（前年比 1 億 689 万円増）となりました。職員に欠員が出た場合は、人件費が割高となる派遣職員を使わず、グループ法人との間で出向・転籍を活用しました。経費（事業費・事務費）については、消費税率引き上げによるコスト増、介護ロボットに関する費用やの改修工事などの設備投資等により、5 億 6,951 万円（前年比 626 万円減）となりました。福岡市からの監査指導により、国庫補助金の積立漏れについて修正を行い、その他の特別損失として 1 億 2,612 万円を計上しています。事業の収益性を表す経常増減差額は、8,623 万円（前年比 338 万円増）、法人の収益性を分析する指標である経常増減差額比率は、4.26%（前年比 0.07%減）となりました。

## II 各事業所の運営状況

### 法人本部・運営推進課

#### 1. 事業運営の安定化

適正な事業運営のため、常勤役員、施設長等の幹部が出席する定例会を週一で開催し、施設運営・収支状況に関する情報を共有しました。社会福祉法の改正や働き方改革に合わせ、就業規則及び諸規程を随時改定しました。

#### 2. 処遇改善及び介護人材の確保

介護人材の確保、離職対策として、ベースアップ昇給、処遇改善手当の増額、定年年齢の引き上げ、年次有給休暇の取得促進等を行いました。また、新卒職員を確保するため、介護福祉士養成校との連携、新卒職員を活用したリクルート活動、奨学金制度や職員寮の案内を行いました。

#### 3. ブランディング活動

法人の強みを引き出すため、ホームページの求人案内・ブログ等のコンテンツを充実させました。また、マスメディア（新聞、テレビ等）にて法人の取り組みをアピールするなど、多角的に広報活動を行い、地域の皆様から選ばれる法人・施設を目指しました。

・敬愛園ホームページ (<http://www.keiaien.org/>)

## アットホーム博多の森

### 1. 運営実績報告

特別養護老人ホームとショートステイの稼働率は91.4%となり、目標92.5%には若干届いていませんが、適正な稼働率を維持しました。当年度も誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト・ノーリフト等の取組を継続してきましたが、特にノーリフトに関しては、職員の獲得、離職防止、入居者の安全確保など、大きな成果を上げました。

デイサービスは、目標稼働率へ前半は近づき良いスタートを切ることができましたが、ご利用者の状態悪化等もあり後半減少、新規獲得も予想以上に苦戦し、目標70%にはほど遠い結果となりました。

#### 《稼働率》

サービス区分	定員	平成29年度	平成30年度	令和元年度
特別養護老人ホーム	99名	96.5%	96.4%	96.7%
ショートステイ	27名	84.0%	75.4%	71.9%
入居全体	126名	93.8%	91.9%	91.4%
デイサービス	18名	58.9%	59.4%	62.3%

#### 《特別養護老人ホームの入居状況》

項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
延べ入居者数		21名	27名	27名
延べ退居者数		22名	28名	26名
延べ入院日数		1,200日	1,175日	1,026日
平均介護度		3.67	3.67	3.61
割合	介護度1	2.3%	2.1%	3.6%
	介護度2	6.7%	5.5%	6.2%
	介護度3	32.8%	36.0%	34.9%
	介護度4	37.7%	36.4%	35.8%
	介護度5	20.5%	20.0%	19.5%

### 2. 安全衛生管理状況

例年通り委員会等で、しっかりと事故原因追及・分析を行い、再発防止に向けての教育を行いました。その中で、人員不足の影響もあってか転倒・転落・接触が若干増加しましたが、新たに眠りスキャンの導入による夜間帯の転倒・転落防止等の安全確保への検証を開始しました。

#### 《行政への事故報告件数》

内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度
転倒・転落・接触	1件	5件	10件
誤薬・誤嚥・異食	2件	4件	3件
打撲・皮膚剥離	1件	0件	0件
食中毒・感染症	3件	3件	0件
その他	8件	0件	3件
合計	15件	12件	16件

### 3. 職員研修

介護の質の維持・向上を目指し、身体拘束・リスクマネジメント・感染対策等の研修を実施しました。

また、当施設が土砂災害警戒区域となっていることから災害訓練を、より力を入れて実施しました。

#### 《主な施設内研修》

実施月	研修名（参加数）	実施月	研修名（参加数）
4月	看取り介護（10名）	10月	胃ろう・喀痰吸引（12名）
5月	身体拘束等（21名）	11月	褥瘡予防（21名）
6月	感染症（13名）	12月	感染対応（17名）
7月	未実施	1月	災害訓練（12名）
8月	リスクマネジメント（13名）	2月	高齢者虐待（12名）
9月	高齢者虐待等（10名）	3月	リスクマネジメント（20名）

### 4. 行事報告

例年通り、入居者が楽しく施設での生活を送っていただくために、季節ごとの行事を企画、実行しました。

#### 《主な行事》

時季	行事名
春	花見（ドライブ）、慰問（よさこい踊り）、月隈まごころサロン
夏	そうめん流し、月隈まごころサロン
秋	敬老会、秋祭り、東ブロックレクリエーション大会、慰問（三味線）
冬	もちつき大会、月隈まごころサロン
随時	誕生会、野球観戦、ドライブ

### 5. 地域活動

前年に引き続き、近隣保育園行事への参加や校区夏祭り等のイベントへの職員派遣、入居者と一緒に参加し、地域高齢者ボランティアの受け入れ等、地域の方々との交流を積極的に行いました。また、不定期ですが、高齢者・障害者の買い物支援を実施しています。

月隈まごころサロンは、医療と福祉施設が共同し、地域高齢者が抱える課題の掘り起しを目的として、地域に根ざした活動をしています。

## アットホーム諸岡

### 1. 運営実績報告

安定した運営を行うため、特別養護老人ホームとショートステイを合わせた目標稼働率を94.2%とし、利用者・家族から信頼される事業所作りを念頭に置きながら、少人数で質の高いケアを提供に努めました。また、科学的介護、誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト、ノーリフトの実践等の取り組みにより、職員の役割を明確にし、現場中心の仕組み作りを行いました。

#### 《稼働率》

サービス区分	定員	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
特別養護老人ホーム	80 名	96.9%	96.0%	96.7%
ショートステイ	10 名	90.4%	96.3%	90.4%
入居全体	90 名	96.2%	96.0%	96.0%
デイサービス	10 名	82.7%	87.9%	83.3%

#### 《特別養護老人ホームの入居状況》

項目		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ入居者数		20 名	16 名	18 名
延べ退居者数		20 名	15 名	18 名
延べ入院日数		693 日	990 日	837 日
平均介護度		3.58	3.79	3.86
割合	介護度 1	2.2%	0.2%	2.2%
	介護度 2	12.9%	6.2%	3.8%
	介護度 3	31.8%	33.0%	29.9%
	介護度 4	30.7%	28.6%	33.8%
	介護度 5	22.4%	30.2%	30.3%

### 2. 安全衛生管理状況

ヒヤリハット委員会では、事故件数・ヒヤリ件数を月毎に集計、時間帯別の件数を算出し、事故防止対策や現場へ情報提供及び事故分析を通じて内部研修を行うなど、施設全体の意識の向上を図りました。

#### 《行政への事故報告件数》

内容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
転倒・転落・接触	8 件	13 件	9 件
誤薬・誤嚥・異食	33 件	26 件	18 件
打撲・皮膚剥離	0 件	0 件	0 件
食中毒・感染症	0 件	0 件	1 件
その他	4 件	3 件	2 件
合計	45 件	42 件	30 件

### 3. 職員研修

介護サービスの質をより高いレベルで維持するため、研修制度の充実を図り、科学的介護の実践や看取りなどに関する施設内研修を行いました。

《主な施設内研修》

実施月	研修名（参加数）	実施月	研修名（参加数）
4月	ケアプラン等（11名）	10月	看取り（9名）
5月	排泄ケア（10名）	11月	感染症（10名）
6月	急変時対応（16名）	12月	身体拘束等（7名）
7月	食中毒予防（11名）	1月	褥瘡予防等（8名）
8月	リスクマネジメント（8名）	2月	リスクマネジメント（10名）
9月	身体拘束等（13名）	3月	誤嚥性肺炎ゼロ（7名）

### 4. 行事報告

利用者が、日々の生活を施設内で送るにあたって、楽しく、豊かに暮らして頂けるよう、職員による手作り料理やおやつの提供、誕生日会や季節ごとの行事、外出の企画などを実施しました。

《主な行事》

時季	行事名
春	ドライブ、外食、春の行事食、鯉のぼり隊、東ブロック交歓大会参加、野球観戦①、ユニット食事会、ファミリー会
夏	山笠見学、野球観戦②③、そうめん流し、地域子供神輿参加、マジックショー訪問、ビアガーデン、花火大会
秋	敬老会、園児訪問、地域文化祭参加、RUN伴応援、運動会、コスモス観賞ドライブ、ファミリー会、歌のボランティア訪問、地域防災訓練
冬	クリスマス会、忘年会、もちつき大会、ドライブ（個別対応）、外食、新春の集い（地域行事）参加、豆まき、お楽しみ会、
随時	フラワーアレンジメント、パステルアート、傾聴ボラ訪問、音楽療法、地域買い物支援、認知症サポーター（キッズサポーター）養成講座

### 5. 地域活動

「地域に根ざす」を主眼に置き、地域健康講話、朝の挨拶運動、地域の清掃活動、板付地区の高齢者の買い物支援を行い、地域行事にも積極的に参加しました。

## アットホーム福岡

### 1. 運営実績報告

適正な施設運営のため、稼働率の向上、介護の質の向上、接遇強化、5 Sの徹底を重要課題と位置づけ、これまでの課題解決も合わせて職員全体で取り組みました。

特別養護老人ホームとショートステイを合わせた施設全体の稼働率は、92.4%となり、施設目標を達成しました。サービス付き高齢者向け住宅は、高い稼働率を維持しています。テナント事業については、ひまわりホームクリニックとの賃貸借契約が令和2年2月29日付で満了となりました。ケアセンター県庁口は、適正な相談件数を維持しています。

#### 《稼働率》

サービス区分	定員	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
特別養護老人ホーム	100 名	93.5%	94.7%	93.9%
ショートステイ	18 名	92.8%	87.4%	84.3%
入居全体	118 名	93.4%	93.6%	92.4%
サービス付き高齢者向け住宅	35 名	95.1%	96.4%	98.1%
居宅介護支援事業所（相談件数）		72.0 件/月	69.9 件/月	72.2 件/月

#### 《特別養護老人ホームの入居状況》

項目		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ入居者数		35 名	22 名	28 名
延べ退居者数		33 名	24 名	27 名
延べ入院日数		1,258 日	1,444 日	1,444 日
平均介護度		3.54	3.67	3.72
割合	介護度 1	6.7%	3.2%	1.7%
	介護度 2	11.6%	10.7%	12.4%
	介護度 3	23.1%	25.5%	23.9%
	介護度 4	37.8%	36.6%	35.6%
	介護度 5	20.8%	24.0%	26.3%

### 2. 安全衛生管理状況

リスクマネジメント委員会では、ヒヤリハット件数を増やして、未然に事故を防ぐ体制の構築と委員のリスク意識の向上を図りました。

#### 《行政への事故報告件数》

内容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
転倒・転落・接触	8 件	3 件	6 件
誤薬・誤嚥・異食	2 件	3 件	1 件
打撲・皮膚剥離	0 件	0 件	0 件
食中毒・感染症	12 件	20 件	0 件
その他	2 件	2 件	2 件
合計	24 件	28 件	9 件

### 3. 職員研修

介護サービスの質をより高いレベルで維持するため、研修制度の充実を図り、リスクマネジメントや緊急時対応などに関する施設内研修を行いました。

看介護の専門性の向上のため、福岡県老人福祉施設協議会主催の KAIGO マジフェス、福岡市老人福祉施設協議会主催の介護従事者研修会、全国個室ユニット型施設推進協議会主催の全国研修大会等、施設外研修にも多数参加しています。

#### 《主な施設内研修》

実施月	研修名（参加数）	実施月	研修名（参加数）
4月	苦情対策（6名）	10月	急変時対応等（17名）
5月	食中毒予防等（19名）	11月	身体拘束廃止（10名）
6月	身体拘束廃止（13名）	12月	褥瘡対策（7名）
7月	リスクマネジメント（14名）	1月	ノーリフティング等（15名）
8月	認知症等（10名）	2月	事例発表等（16名）
9月	看取り等（14名）	3月	リスクマネジメント（10名）

### 4. 行事報告

ご利用者が日々の生活を施設内で送るにあたって、楽しく、豊かに暮らして頂けるよう、季節ごとの企画を行っています。

#### 《主な行事》

時季	行事名
春	東ブロック交歓大会、ミニ家族会、千代小学校運動会見学、フリーマーケット
夏	かき氷食べよう、山笠見学、地域交流夏祭り
秋	放生会見学、地域健康講話、デザートバイキング、千代ふれあいフェスタ 東ブロックレクリエーション大会、ミニ家族会
冬	もちつき大会、鏡開き、節分、お寿司バイキング、焼き芋屋、お雛様
随時	誕生会、願い叶え

### 5. 地域活動

地域との連携を保つべく、地域行事に積極的に参加すると共に、施設職員で早朝清掃を行い、地域と密着した施設であることをアピールしています。地域交流推進委員会では、近隣公園の清掃活動を始め、地域で開催される様々な行事への支援や参加に繋がりました。ご利用者・ご家族との交流を図るため、ミニ家族会を実施し、多数の方にご参加いただきました。



## けいあい保育園

### 1. 運営実績報告

一般枠の利用はありましたが、従業員枠の利用が昨年度を下回りました。

保護者とは、送迎時の会話を大切にし、掲示板を活用しながら情報共有を行いました。

《稼働率》

サービス区分	定員	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
小規模保育園	19 名	79.4%	86.8%	64.5%

### 2. 職員研修

保育サービスの質をより高いレベルで維持するため、施設内研修を実施しました  
福岡市からの案内による外部研修にも積極的に参加しました。

《主な施設内研修》

実施月	研修名（参加数）
8 月	救命講習研修（1 名）
9 月	人権研修（1 名）
10 月	アレルギー研修（1 名）
12 月	保育研修（1 名）
1 月	キャリアアップ研修 2 講座（2 名）
2 月	キャリアアップ研修 1 講座（1 名）

### 3. 行事報告

園児が日々の生活を施設内で送るにあたって、楽しく、豊かに暮らして頂けるよう、季節ごとの企画を行いました。「ももの会」は、高齢者施設と共同行事で、園児と高齢者のふれあいを提供しました。食育、五感を刺激する保育を取り入れました。

《主な行事》

時季	行事名
春	入園式、進級式、健康診断、歯科検診、園外散歩
夏	七夕会、連携施設交流、プール開き、夏祭り、野菜収穫
秋	敬老会、ハロウィン、連携施設交流
冬	もちつき見学、クリスマス会、豆まき、ひな祭り会、お別れ会
随時	誕生会、身体測定、ももの会、和みの会、月制作

## ケアスタ福岡

### 1. 運営実績報告

平成 30 年 11 月にオープンしたケアスタ福岡は、今期フル稼働になり、各サービスの向上に力を入れました。千代パピヨンデイサービスセンターについては、利用者の増加に伴い、令和元年 5 月から定員を 45 名（5 名増）としました。

#### 《稼働率》

サービス区分	定員	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
デイサービス	45 名	71.9%	76.9%	75.3%
グループホーム	18 名	－	86.3%	93.9%
サービス付き高齢者向け住宅	11 名	－	84.5%	99.7%
小規模多機能型居宅介護	29 名	－	24.8%	54.0%

### 2. 安全衛生管理状況

リスクマネジメント委員会では、ヒヤリハット件数を増やして、未然に事故を防ぐ体制の構築と委員のリスク意識の向上を図りました。

#### 《行政への事故報告件数》

内容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
転倒・転落・接触	－	－	8 件
誤薬・誤嚥・異食	－	－	3 件
打撲・皮膚剥離	－	－	0 件
食中毒・感染症	－	－	0 件
その他	－	－	2 件
合計	－	－	13 件

### 3. 職員研修

介護サービスの質をより高いレベルで維持するため、研修制度の充実を図り、リスクマネジメントや緊急時対応などに関する施設内研修を行いました。

#### 《主な施設内研修》

実施月	研修名（参加数）	実施月	研修名（参加数）
4 月	実習生受け入れの心得（11 名）	10 月	身体拘束廃止等（11 名）
5 月	個別レクについて（10 名）	11 月	口腔ケアについて（10 名）
6 月	福祉レクについて（9 名）	12 月	未実施
7 月	食中毒について（8 名）	1 月	認知症・権利擁護（8 名）
8 月	ペースメーカーについて（9 名）	2 月	未実施
9 月	未実施	3 月	未実施

#### 4. 行事報告

ご利用者が日々の生活を施設内で送るにあたって、楽しく、豊かに暮らして頂けるよう、季節ごとの企画を行っています。

##### 《主な行事》

時季	行事名
春	どんたくドライブ、母の日、衣替えショッピング、東ブロック交歓大会
夏	山笠見物、そうめん流し、BBQ、ビアガーデン、盆前ショッピング
秋	敬老会、放生会见物、コスモス見物、東ブロックレク大会、出前講座
冬	忘年会、クリスマスランチ、もちつき、初詣、節分、ひな祭り
随時	東公園散歩、お誕生会、おやつ作り、ドライブ

#### 5. 地域活動

千代地区ネットワーク連絡会及び地域運営推進会議、博多祇園山笠への職員派遣等を行い、千代地区への関わりを積極的に行いました。

### 福岡介護福祉専門学校

#### 1. 運営実績報告

令和元年度は、校舎を西区愛宕から博多区千代（ケアスタ福岡内）に移転し、介護現場との一体型校舎での教育をスタートさせました。敬愛園式介護福祉士教育と銘打った、介護現場を行き来しながら行う実践教育は、これまでの教育に比べ学生の理解も高まり、より深化した教育となることを実感しました。

学生の転居・疾病・進路変更により、これまでになく退学者・休学者が多い年となりました。今後は、学生の退学・休学因子の早期発見・早期対応に努めます。

学生募集では、入学者は26名と前年の19名を7名上回ることができました。外国人留学生・社会人入学者が増えた一方で、高校新卒者が前年度13名から9名と4名減少し、新卒者に対する学生募集に課題が残りました。

##### 《学生数》

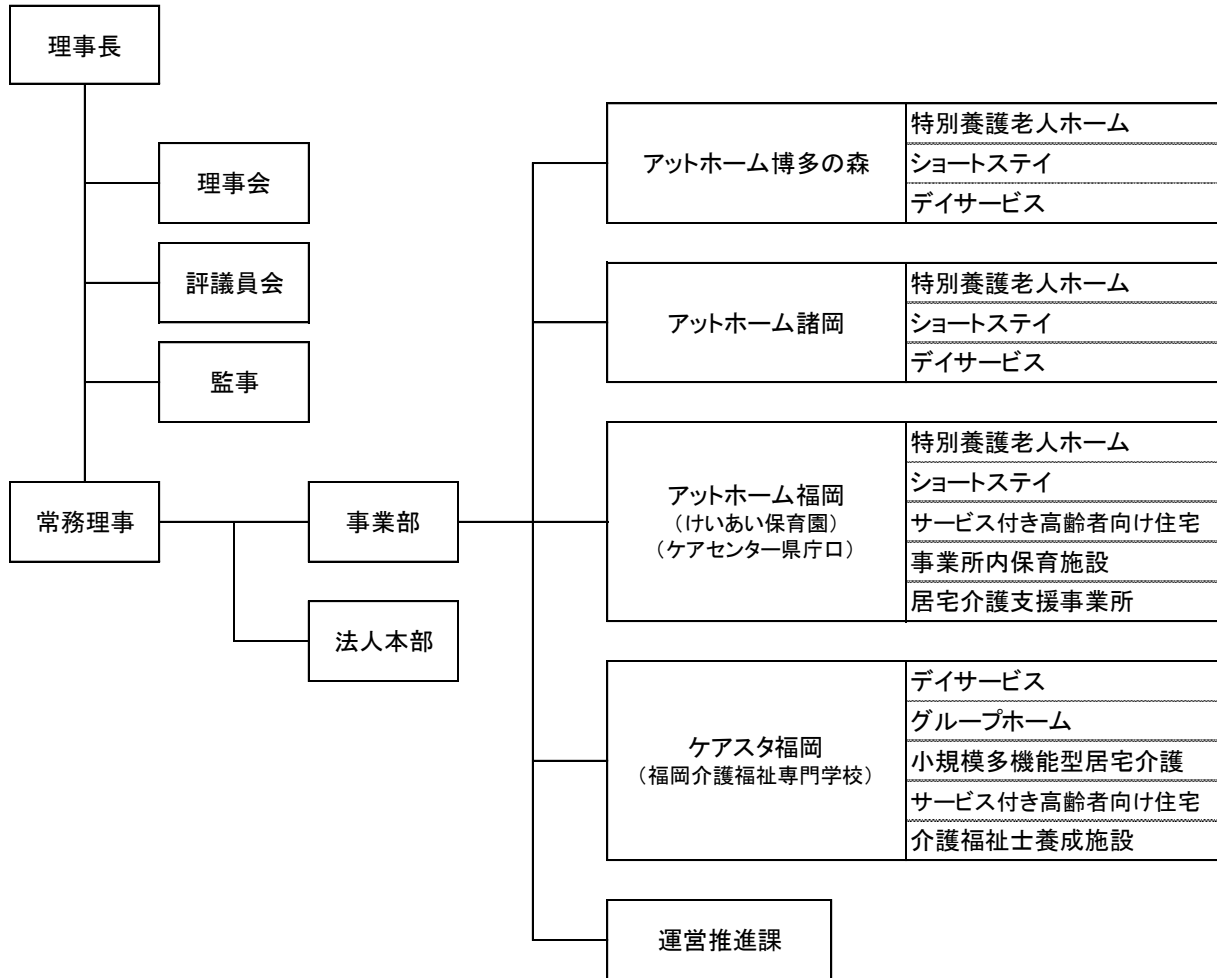
クラス	定員	令和元年度 当初	学生数の推移			令和2年度 当初
			退学	留年	休学	
1年	40名	19名	4名	1名	2名	27名
2年	40名	9名	1名	0名	0名	12名
合計	80名	28名	5名	1名	2名	39名

##### 《学生募集活動の結果》

		平成30年度	令和元年度
オープンキャンパス参加者		38名	46名
入学試験受験者		20名	28名
結果 内訳	合格	19名	26名
	不合格	0名	1名
	辞退	1名	1名

### III 組織図

令和2年3月31日現在



#### <各サービスの定員数>

施設名	サービス・定員数 ○は定員なし								
	特養	SS	DS	GH	小多機	サ高住	居宅支援	保育園	専門学校
アットホーム博多の森	99	27	18	-	-	-	-	-	-
アットホーム諸岡	80	10	10	-	-	-	-	-	-
アットホーム福岡	100	18	-	-	-	35	○	19	-
ケアスタ福岡	-	-	45	18	29	11	-	-	80
合計	279	55	73	18	29	46	0	19	80

#### <職員数>

施設名	介護職		看護職		保育士・教員		その他		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
アットホーム博多の森	50	6	7	2	-	-	13	5	83
アットホーム諸岡	40	3	5	1	-	-	12	5	66
アットホーム福岡	47	5	5	1	7	0	21	6	92
ケアスタ福岡	28	5	2	0	4	0	6	4	49
合計	165	19	19	4	11	0	52	20	290

## 事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人 敬愛園  
理事長 益田俊信